

ほけんだより

病児・病後児保育「みどり」
令和5年8月10日発行



今月のテーマは「**子どもの事故**について」です！

危険がいっぱい

転倒に誤飲、指はさみ等 「赤ちゃんじゃないから大丈夫！」だと思っていないですか？
1歳～4歳の子どもの事故で毎年ほぼ1位になるのが『不慮の事故』
中でも幼児にとって交通事故以上に多いのが、転倒、転落、溺水、窒息など身近な生活の場で起こる事故です。

ちょっとした心掛けや物の選び方で、事故を根本から減らすことができます

○転倒、指はさみ

ベランダや窓、大型家具の近くに踏み台になる物を置かない
階段に滑り止めを付ける など



○誤飲、窒息

ミニトマト、白玉、ブドウ、チーズなど丸くて弾力があり、のどに詰まりやすいものは、半分または4分の1ほどに切る
錠剤、ボタン電池、硬貨、飲みかけのアルコール飲料などを手の届くところに置かない など

○水の事故

お風呂やトイレの入り口は必ず閉めておく 残り湯をためない
お風呂からあがるときは子どもを先に浴槽から出す
洗濯機のふたを閉めておく など

○やけど、感電

使っていないコンセントにカバーをはめる
蒸気の出る物や熱いもの(コードも含め)を手の届くところに置かない など



本気で見守ってくれる人がいることは、「自分を大切にしよう！」
という考えにつながります。

普段から「〇〇ちゃんを大切に思っているんだよ」ときちんと言葉を伝えることが
事故の回避にもつながっていくかもしれません

